



自然毒食中毒に要注意

＜製薬衛生担当＞

○自然毒食中毒とは

植物や動物が生体内で蓄積したり生成したりする毒物（生体固有毒）を摂取したことが原因で発生する食中毒を自然毒食中毒といいます。

たとえば、特定の種類のフグに含まれるフグ毒（テトロドトキシン）や野草のトリカブトに含まれるアコニチンが自然毒として有名です。食中毒によっては死亡する例もあり、決してあなどれません。

春や秋の山菜採りやきのこ狩りで誤って有毒成分を含む植物やキノコを採取したり、自分で釣った魚の中に有毒フグが紛れ込んだりしてそれらを誤食して食中毒を引き起こす事例も少なくありません。

今回は徳島県内で発生した自然毒食中毒事例を紹介します。

○徳島県内で発生した事例

平成23年12月、スイセンの誤食による食中毒が発生しました。原因は自宅で自生していたスイセンの葉をニラと間違えて餃子に使用し摂食したことでした。摂食者は、毒成分の催吐作用により摂食物を吐き出したため、幸い軽症で済み、回復されました。

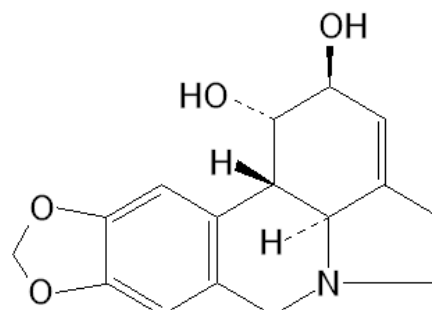
原因毒物を判別するため、保健所の試験検査担当と協力して分析を行いました。保健所では、食材中の毒成分の簡易定性試験を行い、毒成分がリコリンであることを突き止め、当センターでは、下図の高速液体クロマトグラフ質量分析計を用いて、誤食したスイセン葉中のリコリン含有量が $440\mu\text{g/g}$ であることを突き止めました。

このように摂食物（食材）から原因毒物と毒量が明らかになった事例は全国的にもごくわずかです。



採取場所で自生していたスイセン

（スイセンは外観よりニラやノビルと誤認されることが多い。全草が有毒だが特に球根に毒成分が多い。）



リコリンの構造式

（リコリンのヒトに対する致死量は 10g である。摂取後、短い潜伏期間（30分以内）の後に、悪心、嘔吐、下痢等を生じる。）



高速液体クロマトグラフ質量分析計

○自然毒食中毒の症状

毒成分が多種類であることから、中毒症状也多岐にわたります。初期症状が軽度の腹痛、嘔吐であっても、時間が経過すれば神経症状などの重篤な症状が現れる毒物もあり、決して安易に考えてはいけません。

また、治療法が確立していないものや、毒性が十分に解明されていないものもあり、自然毒による食中毒が疑われた時には早期に医療機関を受診することが重要です。

○センターでの取組み

現状では分析可能な自然毒はまだ限られています。当センターでは、中毒事故の原因究明や再発防止につながるよう全国の衛生研究所と協力しながら自然毒分析法の開発・改良やその他の情報交換を積極的におこなっています。

では、自然毒食中毒についてどのような対策がとられているのでしょうか。

○自然毒食中毒を防止するには

自然毒は多種類で広範におよびます。

- ・魚類についてはフグ毒などで流通規制が行われています。
- ・植物毒の対策として、国や各自治体による注意喚起や情報提供が主に行われています。

植物毒対策の一部を紹介します。

食用の野草と確実に判断できない植物は

絶対に 採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！

「もしかして〇〇〇〇かもしれない」、「何となくいつもと違う」というような疑わしい場合や不安が残る場合の4原則です。厚生労働省の啓発パンフレットにも記載されています。

また、野山に出かけなくても、家庭菜園などの身近にある場所で誤って有毒植物を採取して食中毒を起こす事例も全国的には後を絶ちません。このような場合も4原則は有効です。「身近にあるものは、自分にはよく分かっているから、安心だ。」という思いこみが食中毒事故を起こすきっかけになってしまいます。

○自然毒のリスクプロファイル（厚生労働省のホームページに収載された解説集）

動物性自然毒（魚類、二枚貝、巻貝）、植物性自然毒（キノコ、高等植物）の2分類から構成されています。

個々の有毒物質については概要版、詳細版に分けて収載され、特徴、症状、毒成分、間違いやすい動植物、中毒事例、対策等の項目ごとに写真、図を交えて解説されています。

○参考

厚生労働省 自然毒のリスクプロファイル

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison>)

厚生労働省 有毒植物による食中毒に注意しましょう

(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku)

厚生労働省 啓発パンフレット「有毒植物に注意！」

(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/pdf/yuudoku.pdf)